



# ***PRESS RELEASE***

平成 20 年 5 月 20 日

**株式会社証券保管振替機構と Central Depository Services (India) Limited の情報交換と相互協力に関する覚書に調印**

株式会社証券保管振替機構（JASDEC）は、インドの Central Depository Services (India) Limited（CDSL）と、本日、協力協定に関する覚書（Memorandum of Understanding）を調印いたしました。

同覚書に基づき、JASDEC と CDSL は、両社の取締役、上級管理職及びスタッフによる定期的な会合を通じ、業務運営及び証券市場の発展に関して改善の可能性を模索し、情報交換を行ってまいります。

また、両社は、将来において一層親密な協力関係を構築することを期待し、情報交換を通じた交流を維持し、友好及び事業目的での相互訪問を促進してまいります。

調印に際し、JASDEC の竹内社長は、「JASDEC と CDSL による本覚書調印が両証券保管振替機関にとって多大な恩恵をもたらすことを期待している。」と述べ、JASDEC と CDSL が協力関係を更に強化することで、日本・インド両国における証券市場の発展に大いに寄与するとの期待を表明しました。

CDSL のビジャイ・V・ロート（Vijay V. Raut）CEO も、「覚書は、JASDEC との関係をより一層深める一歩であり、長期そして生産的な事業関係を促進するものとなる。」とし、「今回の覚書調印が両社及び日本・インド両国の証券市場にとって、重要かつ具体的な利益をもたらす結果になると確信している。」と表明しました。

また、同氏は、「両証券市場における互いの貴重な経験を分かち合うことにより、覚書調印は、互いの規制枠、主要業務活動、及びリスク管理手法について学ぶ新たな機会となり、システムの効率性を高める最良の慣行を取り入れることにつながる。」と付言しました。

### 証券保管振替機構について

証券保管振替機構（JASDEC）は、我が国唯一の保管振替機関（「株券等の保管及び振替に関する法律」に基づく保管振替機関、「社債等の振替に関する法律」に基づく振替機関）であり、株式・転換社債・REIT・その他証券等について保管振替及び決済サービス、及びコマーシャルペーパー・社債・投資信託・ETF等について振替決済サービスを提供しております。2008年3月時点における株券決済制度参加者は286社、保管株券残高は3,200億株となりました。また、子会社のほふりクリアリングにおいて、一般振替についての「金融商品取引法」に基づく金融商品債務引受機関としてDVP決済サービスを提供しております。当社の詳細情報については [www.jasdec.com](http://www.jasdec.com) をご参照ください。

### CDSLについて

インド証券保管機関（CDSL）は、1999年に業務を開始しました。CDSLには、ボンベイ証券取引所（BSE）及びインドの主要銀行が出資しています。CDSLは、サービスの向上及び革新的な商品の提供に注力してきましたが、ここ数年、大きな成果を挙げています。金融サービス業界はIT化を進めてきましたが、先端技術の採用は、CDSLの戦略構想の中心となっています。こうした一連の取り組み全てが、顧客対応及び新たな展開に迅速に対処する機能を重視するCDSLの経営理念を示しています。

現在、CDSLのサービスは、5,975社の発行企業による証券に関して、424社の保管振替制度参加者により、インド国内の6,700を超えるサイトからの4.9百万の保管振替口座に提供されています。

CDSLについての詳細情報については [www.cdslindia.com](http://www.cdslindia.com) を参照下さい。